平成２８年度　第　１　回
奈良県公共事業評価監視委員会
［資料６］

社会資本整備総合交付金事業
一般国道１６８号 王寺道路
奈良県（道路建設課）

１．再評価対象事業一覧表

２．事業評価項目一覧表

３．説明資料

平成28年度　再評価対象事業一覧表（第1回委員会）

種別	補助事業名	河川・道路名等	事業区間	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	全体事業費（百万円）	総投資額H27年度末（百万円）	事業概要（事業進捗状況等）	対応方針（案）
道路	社会資本整備総合交付金事業	一般国道168号	小平尾バイパス	Ｈ１９	Ｈ１９	未	5,100	1,311	工事延長Ｌ＝１．５ｋｍ 事業進捗率２８％	継続
道路	社会資本整備総合交付金事業	一般国道168号	王寺道路	Ｈ１３	Ｈ１３	Ｈ１３	12,956	11,990	工事延長Ｌ＝１．５ｋｍ 事業進捗率９４％	継続
道路	社会資本整備総合交付金事業	一般国道168号	香芝王寺道路	Ｈ１８	Ｈ１８	Ｈ１８	11,357	4,380	工事延長Ｌ＝３．２ｋｍ 事業進捗率４１％	継続

事業評価項目一覧表

事　業　名	社会資本整備総合交付金事業	事業主体	奈良県
河川･道路名等	一般国道１６８号	事業箇所	王寺道路

評　価　項　目　及　び　評　価　内　容

事業の目的及び必要性

□目的

・交通混雑の緩和、交通安全性の向上、地域の活性化、救急救命活動の支援。

□必要性

・現道区間の交通量は増加傾向、東西の広域道路ネットワークを結ぶ南北方向の交通混雑の緩和。歩行者の交通安全性の向上が期待される。地域の活性化が期待される。救急救命活動を支援する道路である。　（資料ｐ．５～１１）

事業策定の経緯

□当時の状況

・交通量が多く、交通混雑が発生している。歩行者の安全性の確保が課題。道路整備の要望が強い

□着手までの経緯

昭和40年に都市計画決定　（資料ｐ.８）

事業の効果（費用対効果や施策的な効果など）

□計画時の効果　・Ｂ／Ｃ＝１．３

□現時点の効果　・Ｂ／Ｃ＝１．２

（資料ｐ.１３）

事業の進捗状況（着手時からの社会経済情勢の変化、事業の問題点、克服度など）

□進捗状況

・事業進捗率：９４％

□執行の遅延及び原因

・執行の遅延は発生していない　（資料ｐ．１４）

事業進捗の見込み

□進捗の対策

・用地買収率　９４％（平成２８年１０月末時点））

□進捗の見込み

・用地買収が完了した箇所の工事を推進するとともに、残る５件の未買収地について、事業認定の手続きも活用しながら、用地買収を完了させ、早期の供用を目指す。　（資料ｐ．１５）

事業の対策

平成３０年代前半の事業完了を目標に事業推進に努める。　（資料ｐ．１７）

その他

□関係機関等の意向

平成 27 年 3 月に王寺町長より畠田 4 丁目交差点以南の早期の整備要望。

□関連事業の有無

国道 168 号香芝王寺道路　（資料ｐ．１４）

H28.11.21

平成28年度　第1回　奈良県公共事業評価監視委員会

一般国道168号

おうじ

王寺道路

平成２８年１１月

奈良県県土マネジメント部道路建設課

目　　次

１．路線の状況
２．事業の概要
３．事業の必要性等に関する視点
　１）事業を巡る社会情勢等の変化
　２）事業の整備効果
　３）事業の投資効果
　４）地域における計画等
４．事業の進捗の見込みの視点
５．コスト縮減や代替案立案等の可能性及び事業完了後の
　良好な公共サービス提供の視点
６．対応方針（案）

1. 路線の状況（県内の一般国道168号）

■一般国道168号は、和歌山県新宮市を起点とし、大阪府枚方市に至る延長約180km（奈良県域約122km）の主要幹線道路。

■奈良県域は全線が第1次緊急輸送道路に指定されている。

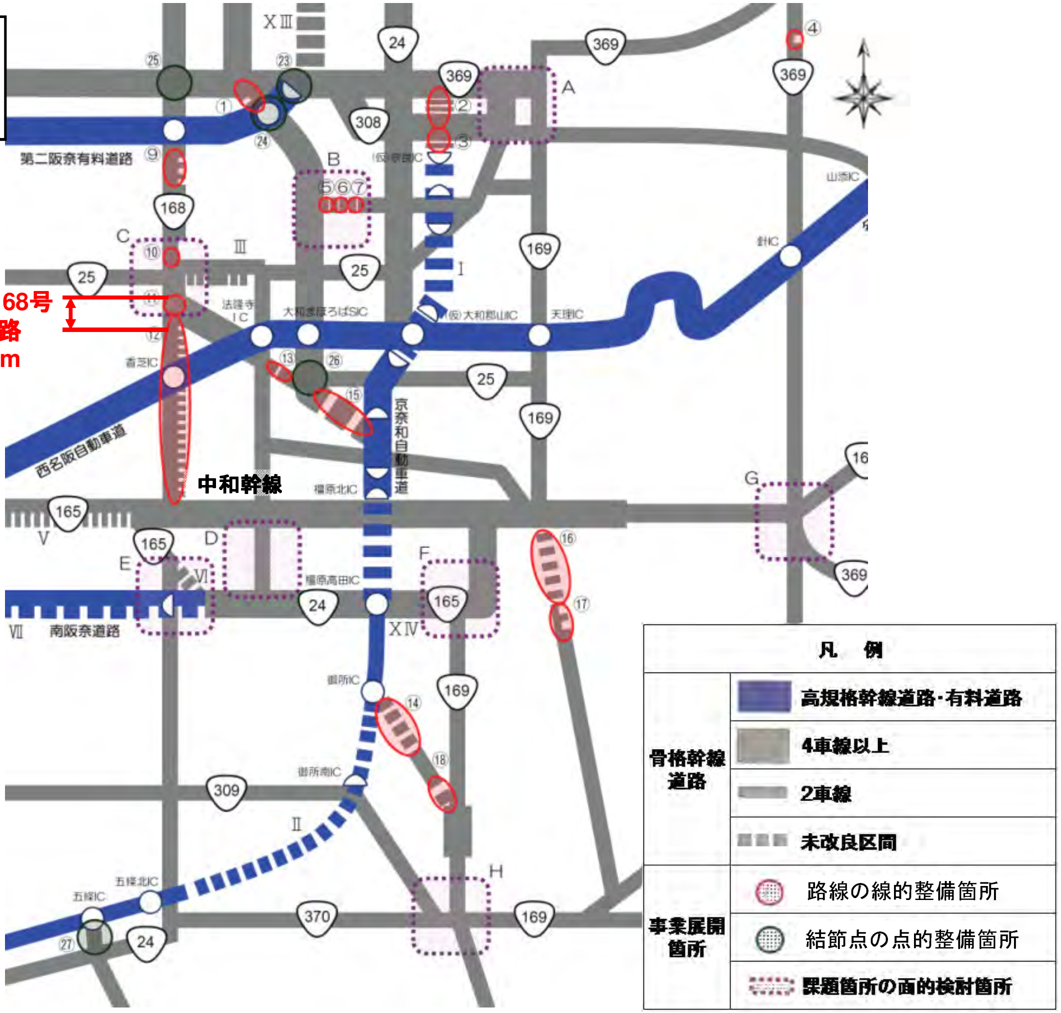
■北・中和地域においては、第二阪奈道路や西名阪自動車道、中和幹線、南阪奈道路など東西交流軸と接続する道路であり、日常生活や産業活動を支えるうえで欠くことの出来ない道路。

1. 路線の状況（骨格幹線道路ネットワーク）

■一般国道168号王寺道路は、奈良県北西部地域における南北幹線道路であり、延長約1.5kmの道路整備事業である。
■本道路は、一般国道25号、西名阪自動車道、中和幹線を繋ぐ道路であり、奈良県道路整備基本計画(平成26年7月)において、骨格幹線道路ネットワークにおける路線の線的整備箇所として重点的な整備を推進する路線に位置づけられている。

骨格幹線ネットワーク
（大和平野部）

一般国道168号
王寺道路
L=1.5km



※各路線については、事業中箇所の事業進捗を見込んだ概ね10年後の姿を表記。
※県以外が事業主体となる路線のうち、事業方針が明らかにされていない区間については、点線で表記。

出典：奈良県道路整備 基本計画

1. 路線の状況（周辺の状況）

■王寺道路は、奈良県北西部地域における南北幹線道路で、香芝王寺道路とともに、一般国道25号、西名阪自動車道、中和幹線を繋ぐことにより、東西-南北軸の道路幹線ネットワークが実現され、地域の交通環境の改善や生活利便性の向上が図られることが期待。
■王寺道路は、平成27年度までに約1.5kmのうち約1.2kmが部分供用、香芝王寺道路は約3.2kmのうち約0.6kmが部分供用。また、中和幹線接続部が平成23年度に供用。

◆事業区間位置図

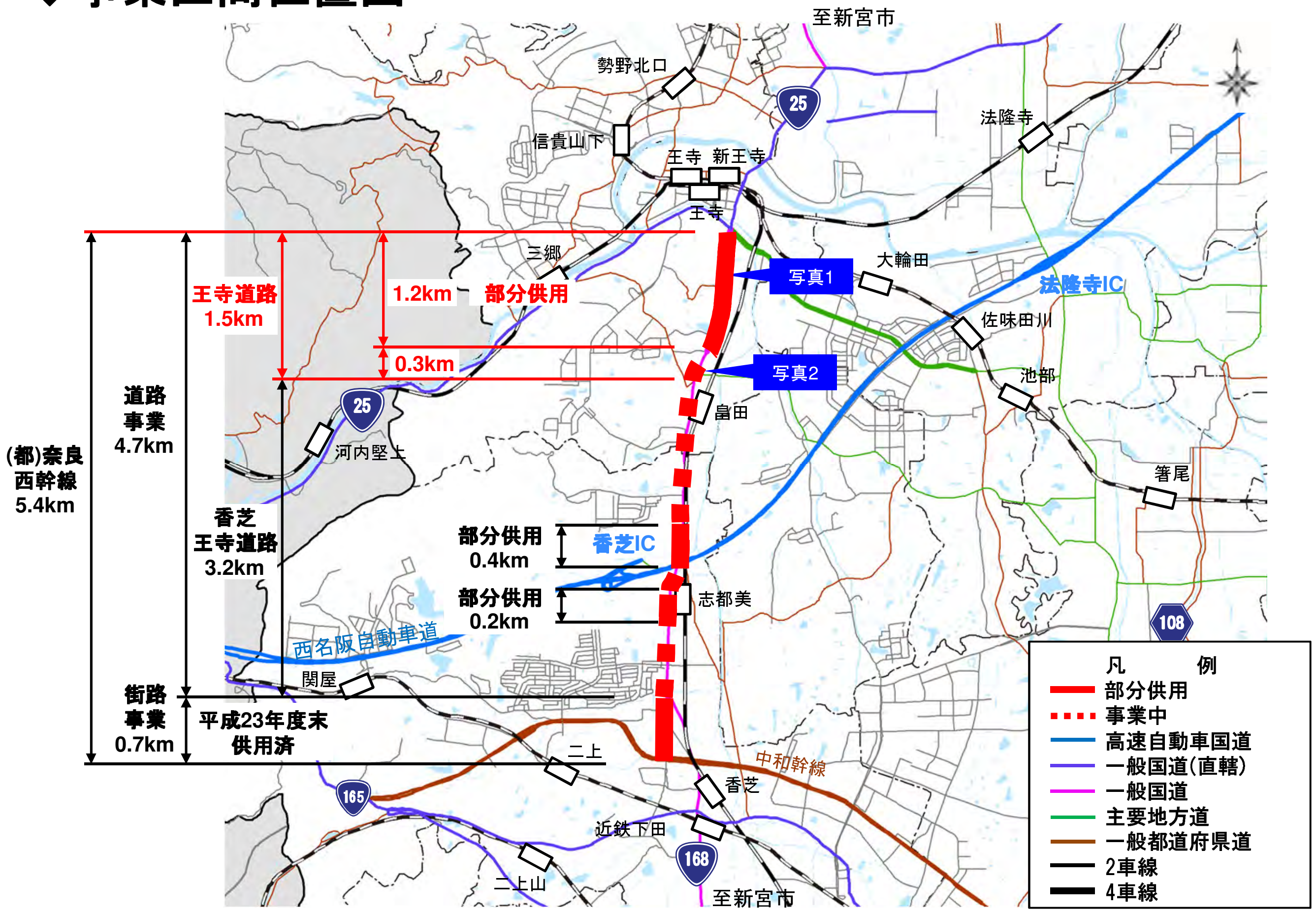


写真1　部分供用区間（H28.10）

写真2　未供用区間（H28.10）

2. 事業の概要

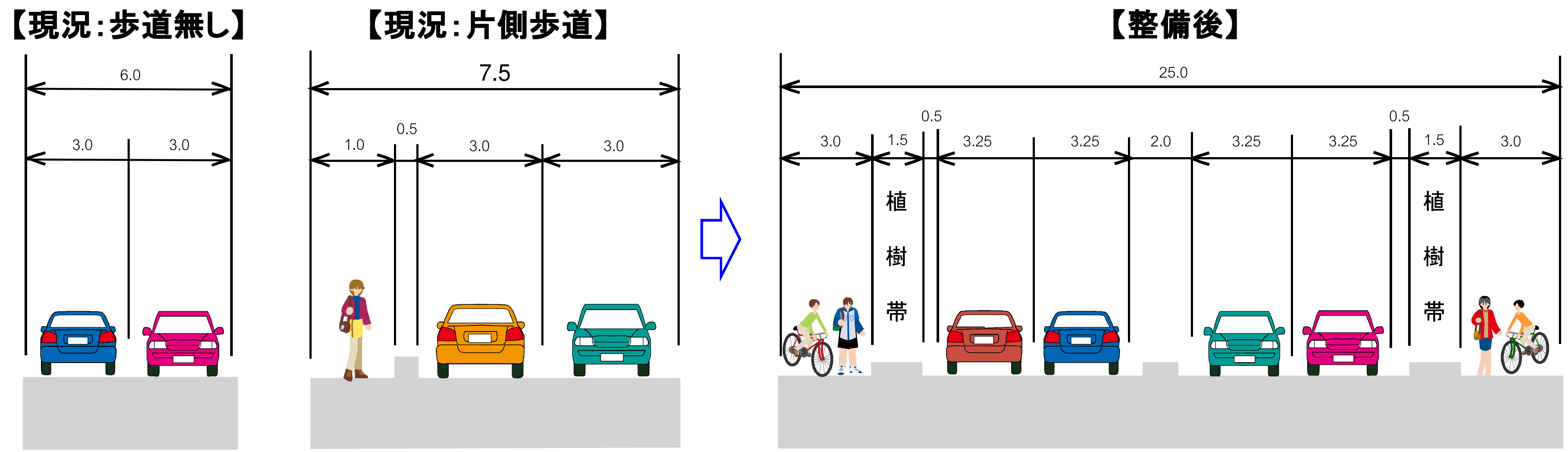
◆事業の目的

- ・交通混雑の緩和
- ・交通安全性の向上
- ・地域の活性化
- ・救急救命活動の支援

◆事業概要、進捗状況

路線名	一般国道168号　王寺道路
事業区間	奈良県北葛城郡王寺町畠田4丁目 ～奈良県北葛城郡王寺町本町1丁目
事業延長	1.5km
構造規格	第4種第1級
設計速度	50km/h
計画交通量	19,200～20,200台/日
車線数	4車線
道路幅員	25.0m
事業費	全体事業費　約130億円
事業の経緯	昭和40年　都市計画決定 平成13年度　事業化

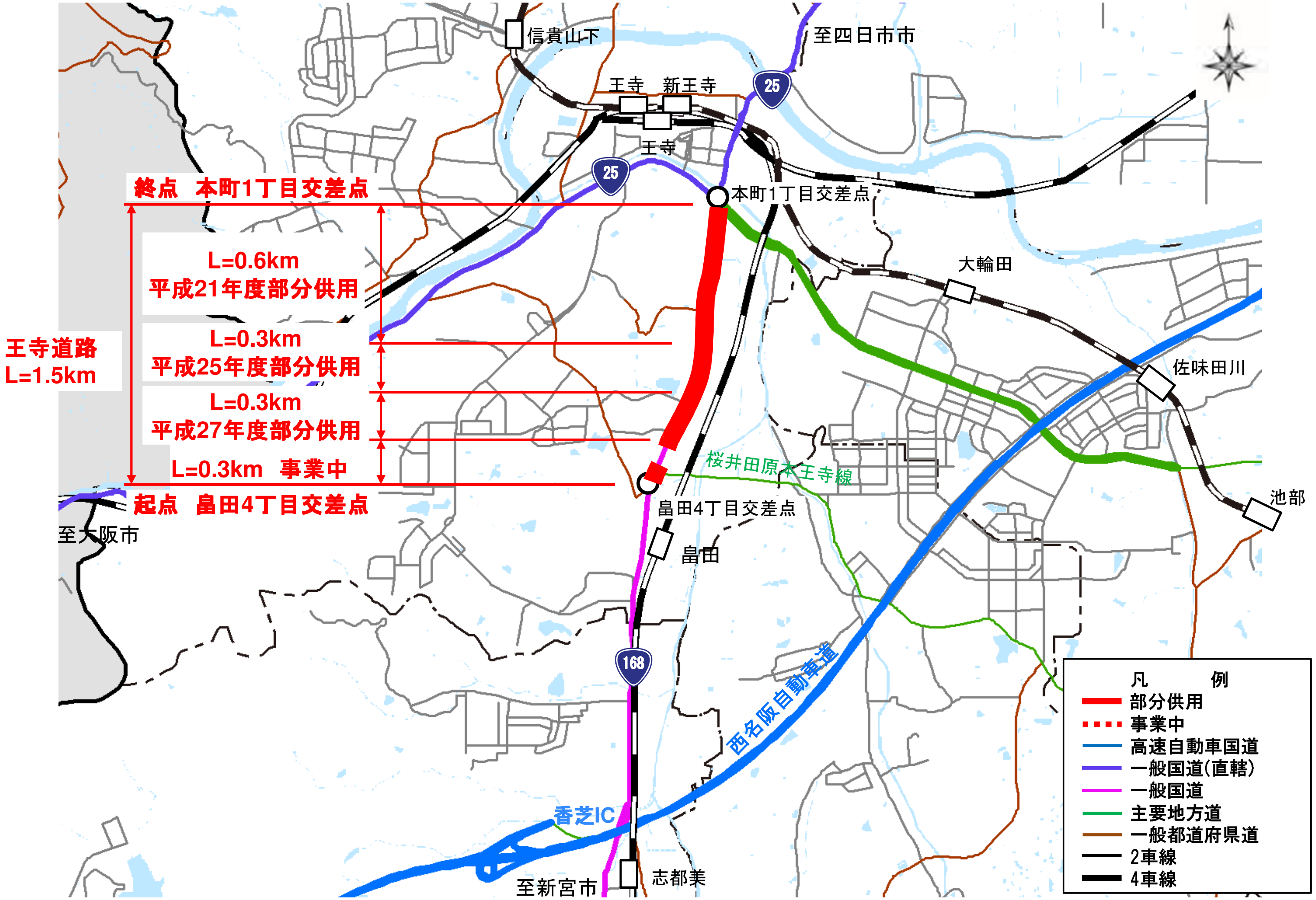
◆標準断面図



2. 事業の概要（計画図）

■王寺道路は、畠田4丁目交差点（桜井田原本王寺線）から本町1丁目交差点（国道25号）に至る延長約1.5kmの道路（部分供用 1.2km）。

◆事業区間計画図

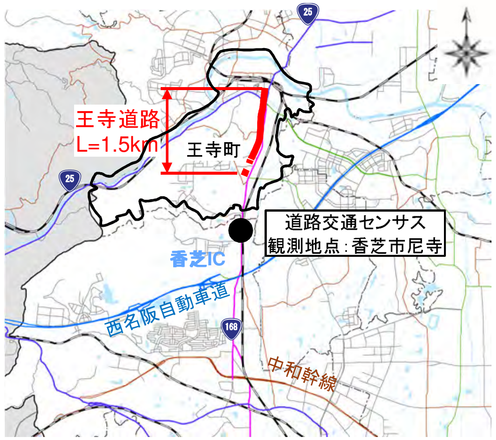


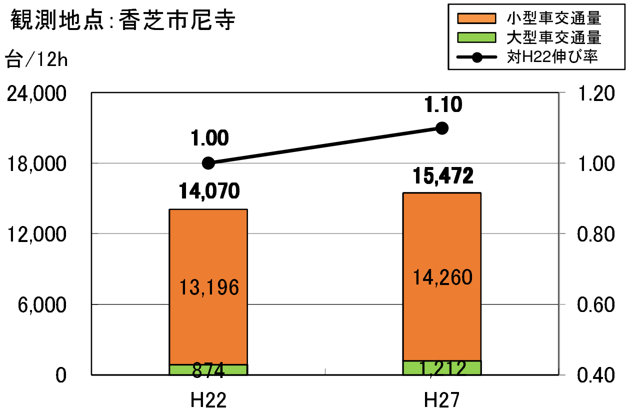
3. 事業の必要性等に関する視点

1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

■国道168号の交通量は、約1万5千台/12h（H27）で中和幹線の供用により交通量が増加（対H22伸び率1.10）。
■奈良県の人口が減少傾向（対H22伸び率0.97）にある中で、王寺町・香芝市・上牧町の3市町の人口は増加傾向（対H22伸び率1.01）。
■王寺町・香芝市・上牧町の3市の自動車保有台数は、横ばい（対H22伸び率0.99）。

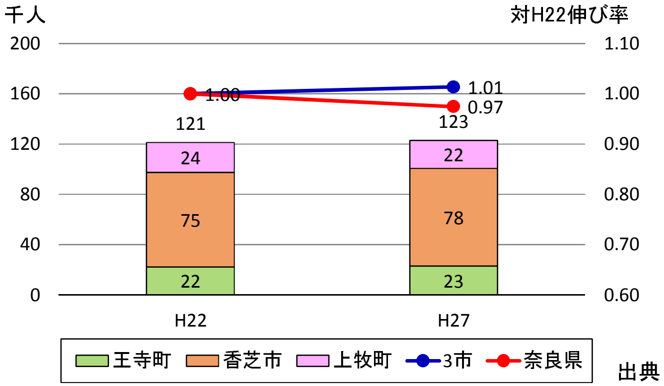
◆交通状況





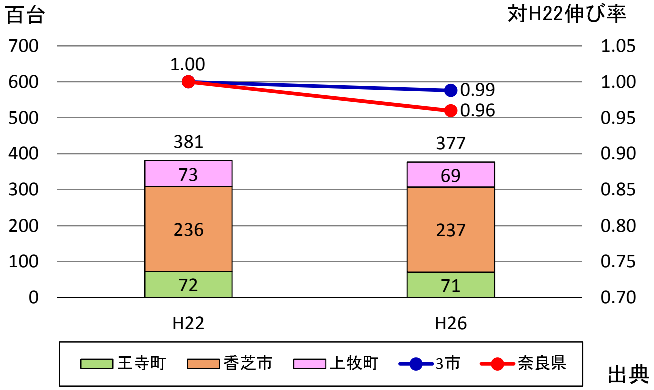
出典：H22は道路交通センサス
H27は道路交通センサス観測地点における
交通量調査結果（平成27年度）

◆王寺町・香芝市・上牧町の人口



出典：国勢調査

◆王寺町・香芝市・上牧町の自動車保有台数



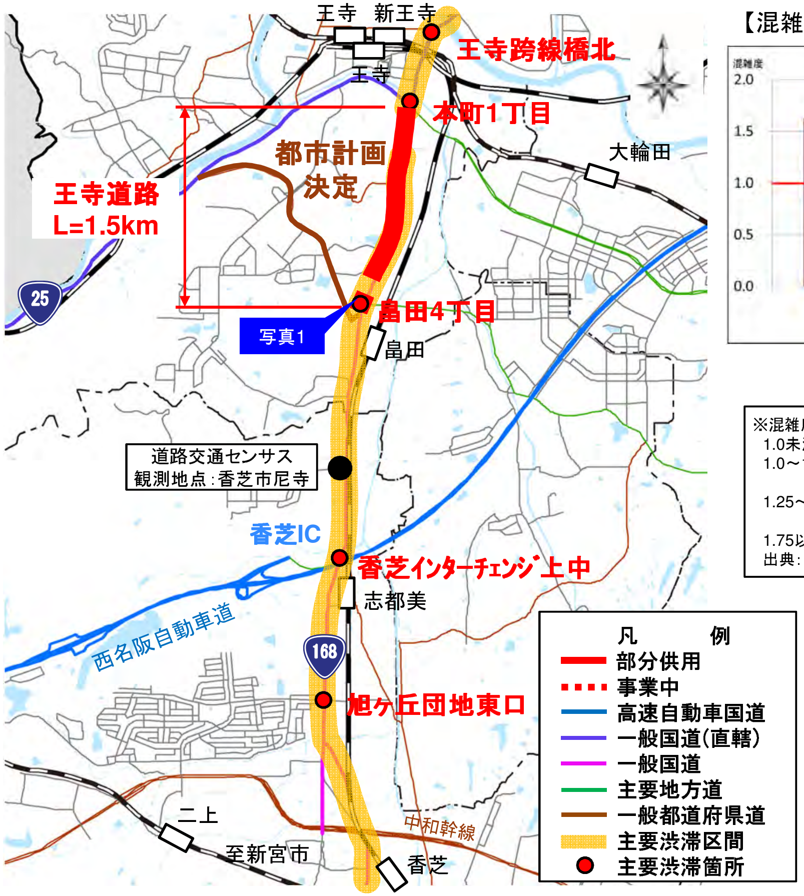
出典：奈良県統計年鑑

3. 事業の必要性等に関する視点

2)事業の整備効果【交通混雑の緩和】

■国道168号は、混雑度が1.78(H27)であり慢性的混雑状態。また、「畠田4丁目交差点」は、地域の主要渋滞箇所として公表。
■当該道路の4車線化整備により、一般国道25号、西名阪自動車道、中和幹線を繋ぐ南北方向の交通円滑化に寄与。

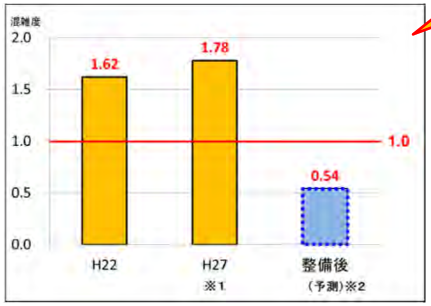
◆周辺道路網の現状



◆国道168号の交通状況

国道168号の王寺道路近傍の道路交通センサス観測地点では、2車線道路で交通容量を大幅に超過。

【混雑度(●観測地点：香芝市尼寺)】



※1　H27の混雑度はH22の交通容量から算出
※2　整備後の混雑度は、H27の交通量と4車線の道路構造令の設計基準交通量を用いて算出

出典：H22道路交通センサス

※混雑度の解釈
1.0未満：昼間12時間を通して、道路が混雑することなく、円滑に走行できる。
1.0～1.25：昼間12時間のうち道路が混雑する可能性のある時間帯が1～2時間(ピーク時間)ある。
1.25～1.75：ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性の高い状態。
1.75以上：慢性的混雑状態。
出典：道路の交通容量((社)日本道路協会)

写真1　国道168号(H28.10)

◆王寺町役場からの声

王寺道路は、大型車や観光バスも多く通行するため、2車線の時は離合が非常に危険でしたが、4車線化により、スムーズに走ることができたと思います。
しかし、現在未拡幅となっている0.3km区間や畠田4丁目交差点がボトルネックとなっています。
また、畠田4丁目交差点に接続する都市計画道路が都市計画決定され、今後、畠田4丁目交差点にさらに集中すると考えられます。
未拡幅の0.3km区間の早期の整備をお願いしたいと思います。

3. 事業の必要性等に関する視点

2)事業の整備効果【交通安全性の向上】

- ■ 王寺道路の未供用区間は通学路に指定されており、歩道も狭くクルマが多いため、非常に危険な状態。死傷事故件数は51件(H22~H26)。
- ■ 部分供用により、事故率が減少(未供用区間145.3件/億台キロ、供用済区間60.5件/億台キロ)。
- ■ 当該道路の4車線化整備により、安全に歩ける歩道が確保されることで、児童の登下校時および自転車の交通安全性が高まることを期待。

※一般国道の全国平均は81件/億台キロ

◆国道168号周辺の通学路

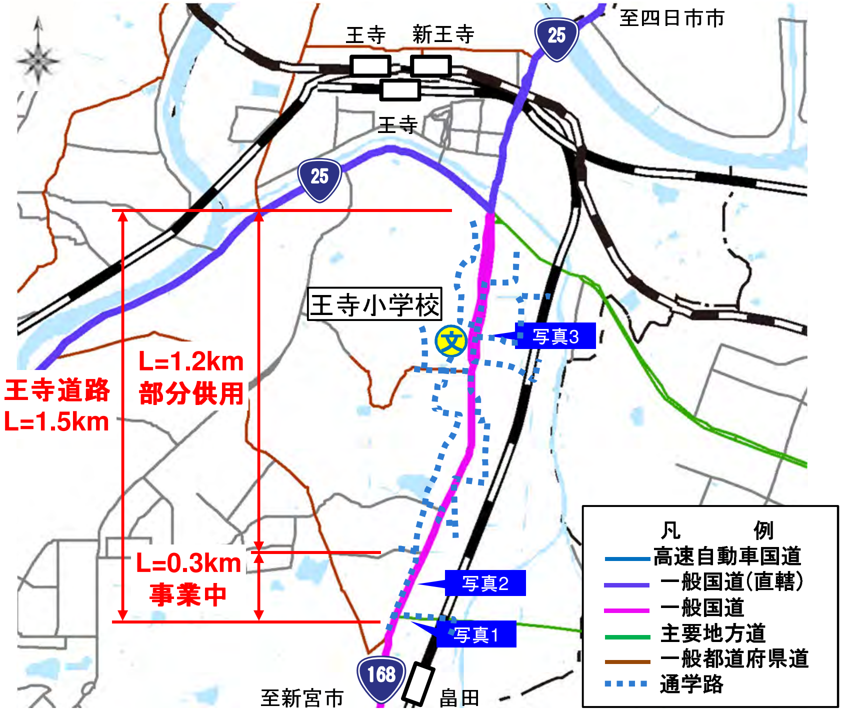
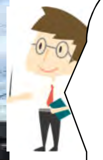


写真1　歩行者自転車(H28.10)

写真2　大型車通行(H28.10)

写真3　部分供用区間(H28.10)

◆王寺小学校からの声



通学路である「王寺道路の未供用区間」は、歩道も狭くクルマが多いため、非常に危険です。

国道168号より東側に住んでいる生徒は、踏切を渡って、畠田4丁目交差点を横断して狭くて大型車も走行する「未供用区間」を歩行することになります。

王寺道路の未供用区間も早く供用され、児童の安全性が高まることを期待しています。

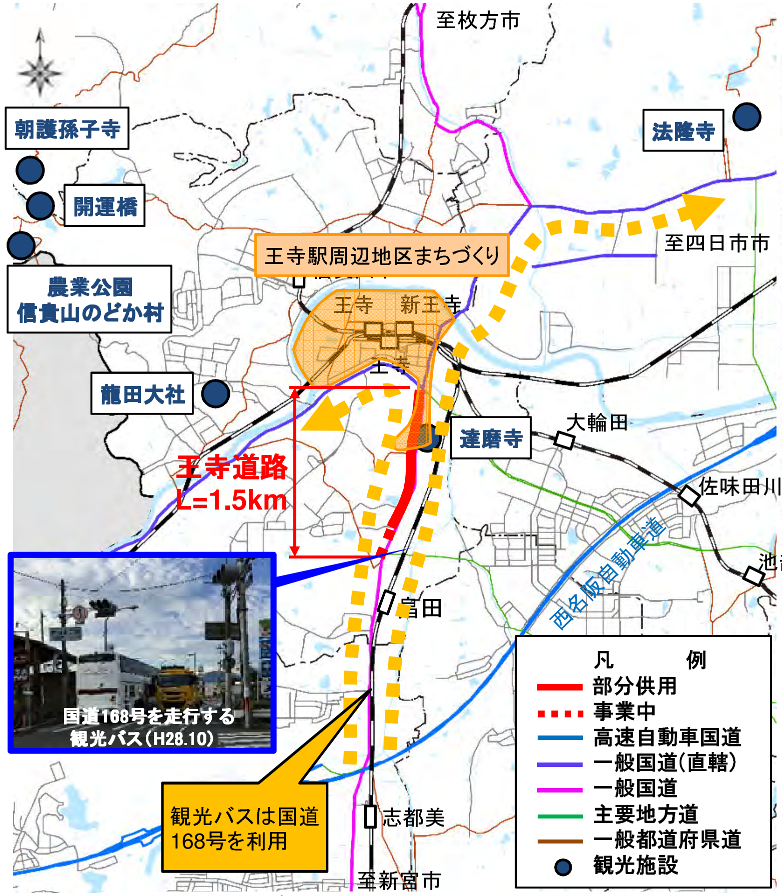
出典:王寺小学校ヒアリング結果(H28.10)

3. 事業の必要性等に関する視点

2)事業の整備効果【地域の活性化】

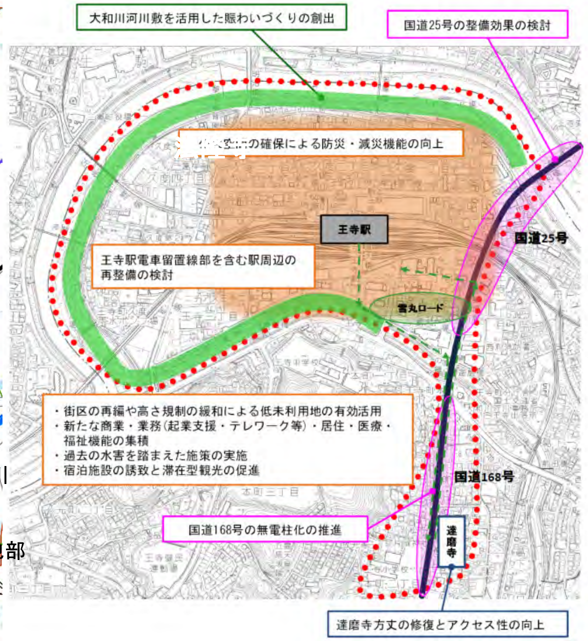
- ■ 王寺町では、「王寺駅周辺地区まちづくり」を推進し、王寺駅周辺地区を中心として滞在型観光を創出する計画。
- ■ 当該道路の整備により、西名阪自動車道から「王寺駅周辺地区」へのアクセス性の強化、王寺駅周辺の主要観光スポットへのアクセス性強化が期待。

◆国道168号沿道の観光施設立地状況



出典1)写真:奈良県観光協会HP、王寺町観光協会HP

◆王寺駅周辺地区まちづくり



出典:王寺町のまちづくりについて(H28.8.18)

◆王寺町役場からの声

王寺町では、社会人口は減少しても交流人口を増やし、賑わいを創出していきたいと考えており、王寺駅周辺地区のまちづくり・再開発整備を推進しています。

王寺駅周辺地区での滞在型観光の創出を考えており、そのためには、西名阪自動車道から王寺駅周辺地区及び周辺の観光スポットへのアクセスルートである王寺道路の渋滞は非常に問題であると認識しています。

今回の王寺道路の4車線化は、王寺町駅周辺地区の活性化に非常に貢献できると思います。今後、未拡幅の0.3km区間も早期の整備をお願いしたいと思います。

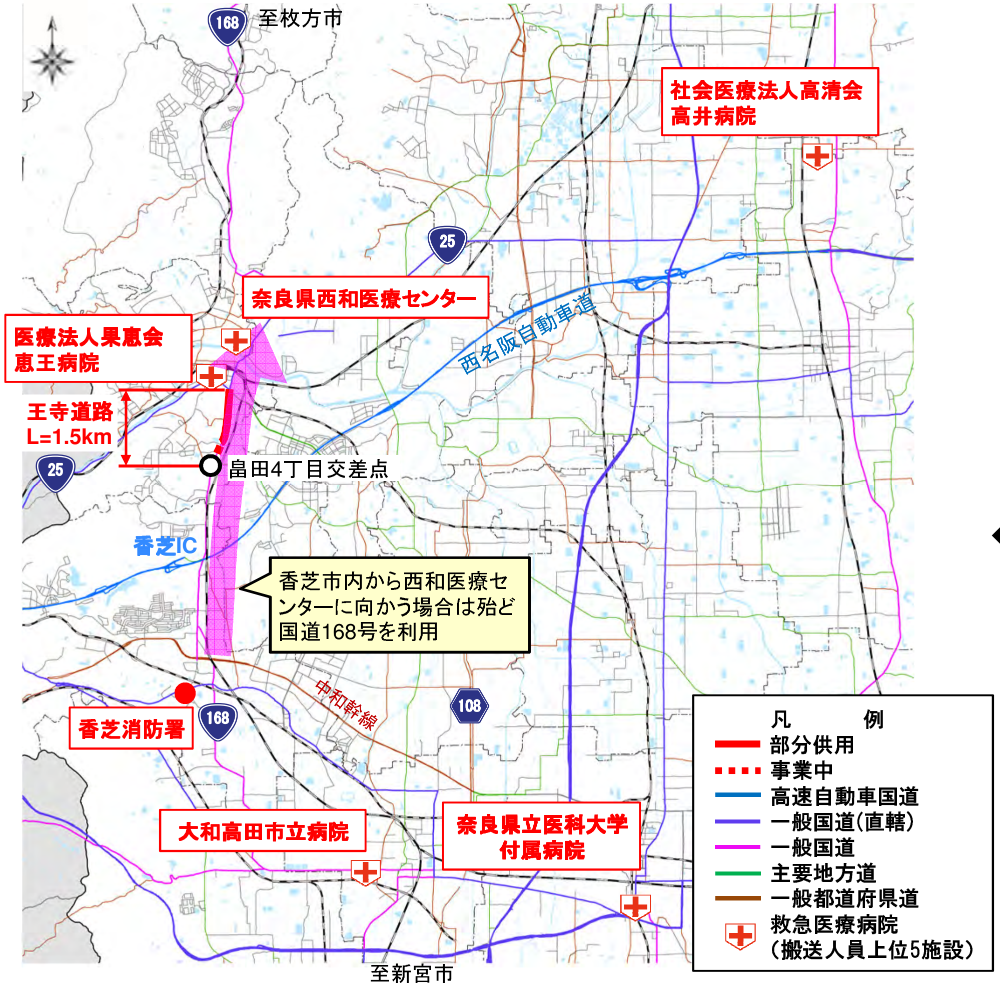
出典:王寺町役場ヒアリング結果(H28.10)

3. 事業の必要性等に関する視点

2)事業の整備効果【救急救命活動の支援】

■香芝消防署では、平成28年1月～9月の9か月間で、出動件数は2,180件。
■国道168号では、渋滞などにより救急搬送時において遅れ時間が発生する場合がある。
■当該道路の整備により、救急搬送の円滑化向上に期待(一般車両では3.2分の時間短縮)。

◆主な救急輸送先医療機関



◆香芝消防署救急搬送状況

【搬送状況(平成28年1月～9月を集計)】

出動件数	2.180件
搬送人員	2,015人

【搬送人員上位5の医療機関(平成28年1月～9月を集計)】

医療機関名	搬送人員(人)
奈良県西和医療センター	374
大和高田市立病院	181
社会医療法人高清会　高井病院	133
奈良県立医科大学付属病院	130
医療法人果恵会恵王病院	119
その他	1,078
合　計	2,015

出典:香芝消防署ヒアリング結果(H28.10)

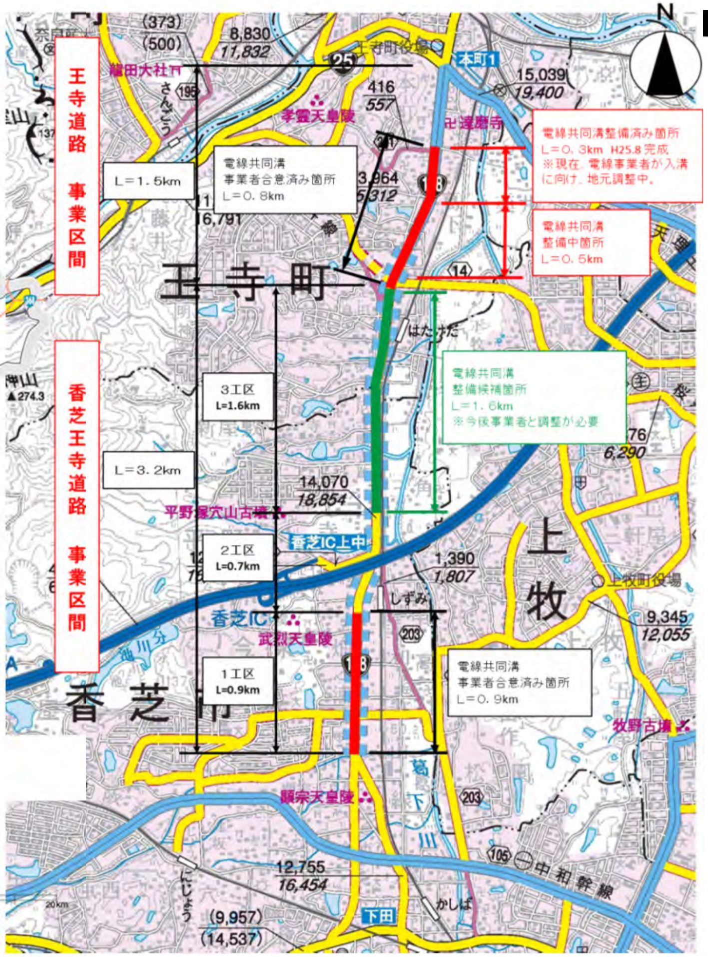
◆香芝消防署からの声

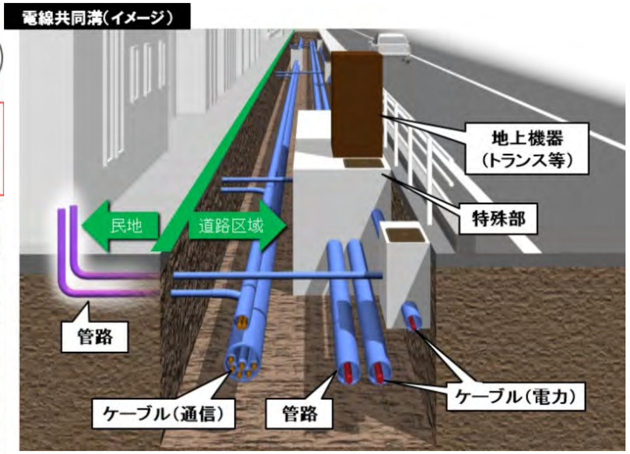
王寺町内の西和医療センターや恵王病院に向かうことが多いです。香芝市内から西和医療センターに向かう場合は殆ど国道168号を利用しています。
王寺道路は4車線整備に伴う渋滞緩和や道幅の拡幅により、救急車両が非常に走りやすくなっています。
しかし、畠田交差点付近は2車線であるため、かなり渋滞しているイメージがあります。
救急車両は一般車両と比較して大きいため、道路の拡幅は非常に重要です。国道168号の道路拡幅による救急搬送の円滑化の向上に期待します。

3. 事業の必要性等に関する視点

2）事業の整備効果【緊急輸送道路の通行機能確保】

■県内の国道168号は全線が第一次緊急輸送道路に指定されており、災害時に緊急車両の通行を確保すべき重要な路線。
■地震などの災害時に緊急車両の交通を確保するために、道路整備とあわせて電線共同溝を整備し無電柱化を行っている。





出典:国土交通省HP「無電柱化の手法」

写真1　現道における電柱の状況（H28.10）

3. 事業の必要性等に関する視点

3)事業の投資効果

◆事業全体

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益※1	費用便益比(B/C)
	174.3億円	14.8億円	1.4億円	190.5億円	1.2
費用(C)	事業費	維持管理費		総費用※1	
	164.3億円	0.2億円		164.5億円	

(前回再評価時B/C=1.3)

◆残事業

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益※1	費用便益比(B/C)
	174.3億円	14.8億円	1.4億円	190.5億円	26.7
費用(C)	事業費	維持管理費		総費用※1	
	6.9億円	0.2億円		7.1億円	

■算出条件等

基準年	:平成28年度
検討期間	:50年間
現在価値算出のための社会的割引率	:4%
交通量の推計時点	:平成42年度
推計に用いた資料	:平成17年度道路交通センサス
適用した費用便益分析	:平成20年11月版マニュアル
事業費	:164億円(現在価値)
維持管理費	:839千円/km
作成主体	:奈良県

※1 便益・費用については、現在価値化した値である。
※2 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している。

3. 事業の必要性等に関する視点

4）地域における計画等

事業の位置付け

〇奈良県道路整備基本計画（平成26年7月）

骨格幹線道路ネットワークにおける路線の線的整備箇所として位置づけ重点的な整備を推進

〇王寺町のまちづくりについて（平成28年8月）

奈良県の西和地区の拠点として、公共交通の結節点でもある「王寺駅」の周辺部で都市機能の集約を図り、にぎわいある中心市街地の形成を図る。

要望経緯

〇県予算等に関する要望事項（部長要望） 奈良県町村会・奈良県町村議会議長会（平成28年9月）

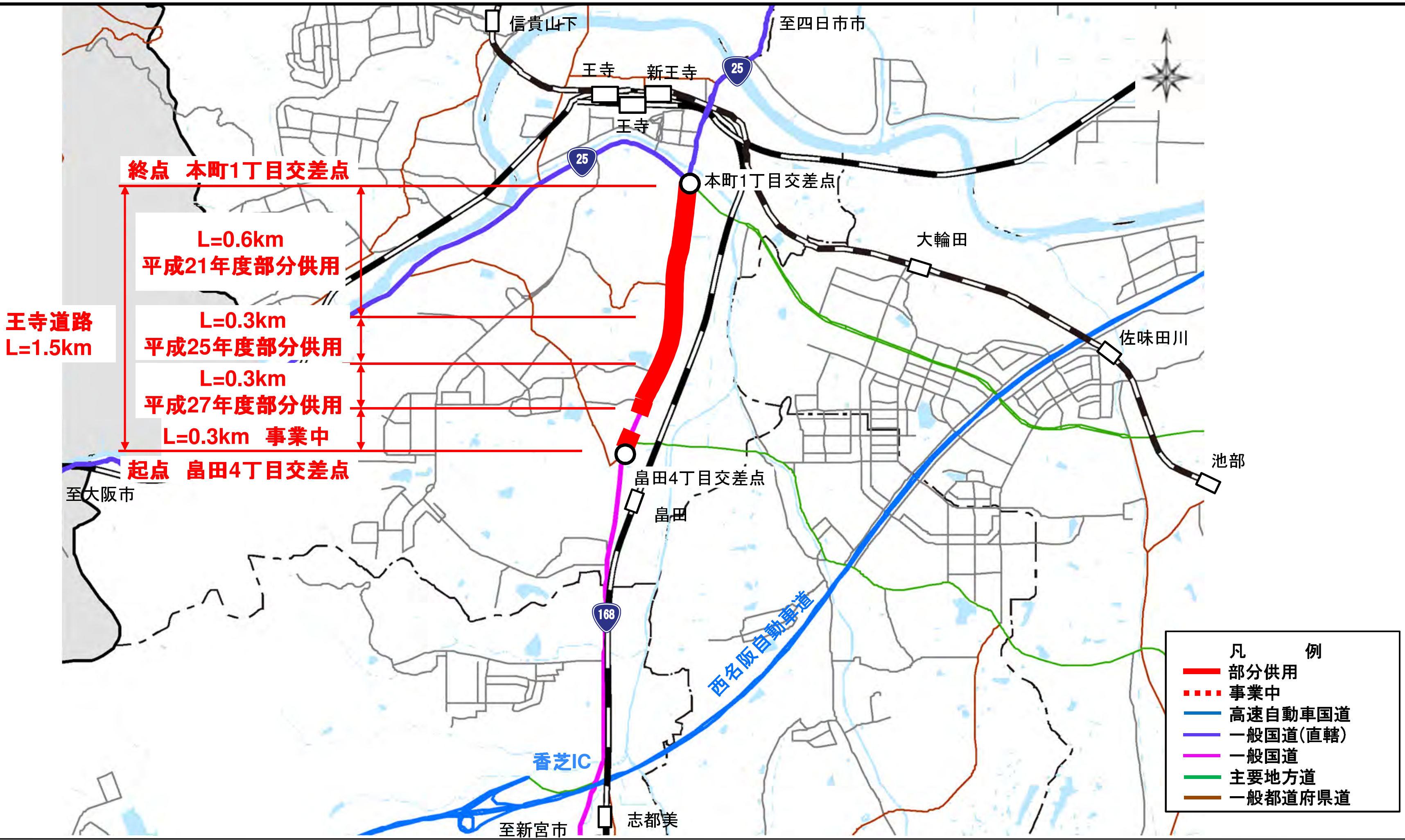
国道168号（香芝市－王寺町区間）の早期供用開始を要望。

〇奈良県への要望事項 王寺町長(平成27年3月)

王寺道路・香芝王寺道路の早期供用を要望

4. 事業の進捗の見込みの視点

■平成27年度までに1.2kmを供用し、引き続き残りの0.3km区間の用地交渉および工事を進めている。
■平成28年10月までの進捗は、事業進捗率約94%、用地買収率約94%。
■平成28年度は、用地買収が完了していない5件のうち、1件の地権者と概ね合意をしている。
■今後は、用地買収が完了した箇所の工事を推進するとともに、残る5件の未買収地について、事業認定の手続きも活用しながら、用地買収を完了させ、早期の供用を目指す。



5. コスト縮減や代替案立案等の可能性及び事業完了後の良好な公共サービス提供の視点

◆コスト縮減に配慮した施工

建設発生土（残土）の有効利用とプレキャスト製品の採用などにより約20百万円のコスト縮減が期待される。
より一層コスト縮減に努めながら、引き続き事業を推進する。

◆代替案立案等の可能性

現在の計画で事業の進捗に問題がないため、代替案の検討は行わない。

◆事業完了後の良好な公共サービス提供

道路を利用される方々が安全で快適に利用していただけるよう、バス停の位置等について、バス事業者などの関係機関との協議を行い、歩道整備と同時にバス停のための待避所を設置しています。
今後も引き続き、完成供用に向けて関係機関との協議を着実に実施する。

６．対応方針（案）

１．事業の必要性等に関する視点

- 東西の広域道路ネットワークを結ぶ南北方向の交通混雑の緩和。
- 歩行者の交通安全性の向上が期待される。
- 地域の活性化が期待される。
- 救急救命活動を支援する道路である。
- 費用便益費（B/C）は事業全体で1.2、残事業で26.7。

２．事業進捗の見込みの視点

- 現在、用地買収を実施中。事業進捗について大きな問題はない。
- 引き続き事業を推進し、平成30年代前半の事業完了を目指す。

一般国道168号王寺道路は、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。
引き続き事業を推進し、早期の事業完了を目指すことが適切である。

事　業　継　続